

～前回のイベント～ （主に）志木市の河川敷と田んぼ道をおるく



東武東上線志木駅前にて朝のあいさつと本日のコース説明。天気は薄曇りながら風も穏やか、気温も高めと歩くには上々のコンディションです。今回は事務局スタッフの岡田がリーダーをつとめました。



慶応志木高校の脇を抜けて住宅街へ。ちょうど朝霞市と志木市の境目を縫うようなコースでした。

左写真は、昔タヌキがいたと言われている緑地。今はうすい小さな林になってしまって、彼らに出会うことは難しそうでした。

冬枯れの庭に咲く花、ロウバイ。



新河岸川に出たところで早速双眼鏡やスコープをのぞく参加者のみなさん。カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、カワセミ、ツグミ、ジョウビタキ、ダイサギなどが見られました。



右は河畔木にとまっていたジョウビタキ。



道中脇に鎮座あそばしていた、可愛い(?)カッパの像。昔、柳瀬川にはカッパが住んでいたそうで、今では志木市のマスコットキャラにもなっています。

今はどこに住んでいるのでしょうかね、カッパ？

水谷田んぼ近くの公園にてお昼御飯。今月は都合により認定式はありませんでしたが、地元で活動なさっている河原井さんより、水谷田んぼの魅力と今抱えている課題についてお話を頂きました。

後継者不足や沿線の開発計画など、かなり多くの問題を抱えていることを知ることができました。



昼食の時間に、上空を 30 羽くらいのタゲリが通過しました。田んぼにおりている所を見られるかと期待半分だったのですが...いきましたよいました！ 田んぼにおりてじっとしているタゲリを観察できました！ 地元の方でも近年中々お目にかかれなくなっているそうなので、幸運！ といえばそうなのですが...逆に言えば、それだけこの場所が鳥たちにとってすみにくくなりつつあるという意味なんですよ。



現地でも河原井さんの丁寧な解説をいただきました。水谷田んぼの用水路は冬でも水が流れているのですが、これは北側の斜面林からの湧水だそうです。

土も水も、ちゃんと次の世代のために残していきたいものですね。



おつかれさまでした。